

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年7月6日 No. 16 文責：佐野紳二

7月7日は七夕です

明日、7月7日は言わずと知れた「七夕」です。昨年この時期の学校通信にも「七夕」について少し書かせていただいた記憶がありますが（昨年のNo.17 7月7日発行を参照）、今年も懲りずにちょっと七夕について調べてみましたので、お付き合いください。

1) 7月7日には星が見えない？

七夕は本来、旧暦の7月7日に行われていた行事なので、今の7月7日に当てはめると無理があることもあるようです。その最たるものはお天気で、過去60年間の7月7日の天気を見てみると、晴れの日は約28%と少なく、天の川や織姫（ベガ）や彦星（アルタイル）がこの日に見えることは少ないのです。



因みに、旧暦の7月7日は現在の8月4日頃で、この日の晴れの日は65%となり、星もよく見えるようです。

2) 七夕の由来は？

七夕といえば「織姫と彦星」の話が有名ですが、実はその他のいくつかの話が絡み合って現在の「七夕」になったようです。

①中国の「乞巧奠（きこうでん）」

中国では古くからベガ（織姫星）は針仕事を司る星とされてきました。一方、アルタイル（彦星）は農業を司る星です。「乞巧奠」は、中国で7月7日の夜に行われた宮中行事で、女性たちは織姫星に手芸や裁縫、機織りの上達を願いました。この儀式が日本に伝わり、平安時代には宮中や貴族の間に広がったそうです。



②日本古来の「棚機津女（たなばたつめ）」

秋の豊作を神様に祈るために、若い女性が選ばれ、水辺に小屋を立てて、そこにこもって、神様に備える布を織りました。このときに使ったのが「棚機」と呼ばれる織り機です。いつしかこの棚機の行事が、中国から伝わった「乞巧奠」や織姫の話と融合していったようです。

3) 七夕でなぜ「たなばた」って読むの？

前述のとおり、「たなばた」という言葉は、日本古来の伝説「棚機津女（たなばたつめ）」から来ているという説があります。この棚機津女が7月7日の夕方ごろに水神を迎えていたことから「七夕」と書くようになったという説が有力のようです。

4) 七夕に笹を飾るのはなぜ？

笹は日本では古くから「神聖なもの」とされていること、また笹の葉には抗菌作用があることから、笹の葉にお供え物を置くなど神事によく使われていること、また笹は天に向かって真っすぐ伸びることなどから、七夕の行事にも神聖な笹が使われたのではないかとされています。

5) 七夕の短冊が五色なのは？

七夕の歌の2番に「五色の短冊 私が書いた」という一節があります。この五色とは一般的には「赤・青・黄・白・黒(紫)」が使われ、中国の陰陽五行説ではそれぞれの色に込められた意味があるそうです。

赤	親や祖先など目上の人を大切にすること	青	人を思いやること
黄	人を信じて愛すること	白	約束ごとを守ること
黒(紫)	優れた知識を持つこと		

願い事を書くときには、短冊の色も願い事に合わせて選ぶといいのかも知れませんね。

6) 七夕に食べる行事食は？

七草の節句には七草がゆ、桃の節句(ひなまつり)には菱餅やちらし寿司、端午の節句(こどもの日)には柏餅やちまきなど、さまざまな行事食がありますが、七夕の行事食は「そうめん」になります。今年の給食は「星のすまし汁」と「七夕ゼリー」でそうめんは出ないようですが、ご家庭で食べてみるのもいいかも知れませんね。



私たちにとって身近な季節の行事なので、すでにご存じだったことも多かったかも知れませんが、いかがだったでしょうか？今年の七夕も、星空が見えるかどうか微妙なところですが、自分なりの願い事(または目標)を決めて、それに向かって何かを始める第一歩に、七夕がそんな日になるといいなあ...と思っています。

ムーちゃんが教室にやって来た

先週の水曜日(6月29日)、北杜市にあるオオムラサキセンターから職員の方が学校を訪れ、オオムラサキの幼虫(ムーちゃん)を学校に連れてきてくれました。これは、オオムラサキセンターの事業として毎年行われているもので、県内の小学校何校かにオオムラサキの幼虫を貸し出し、幼虫がサナギ→成虫へと羽化していく様子を子どもたちに観察してもらい、オオムラサキや生き物への関心を高めてもらうことをねらいにしているそうです。本校の3年生は、ちょうど1年前にオオムラサキセンターを訪れ、オオムラサキの幼虫や成虫を観察しているので、みんな興味津々といった様子でした。7月6日現在、ムーちゃんはまだ幼虫ですが、今後の成長が楽しみです。



明日は授業参観です

明日7月7日(木)は授業参観です。6月の授業参観は全校一斉の道徳公開だったので、授業時間を半分に分けての参観をお願いしましたが、今回は学年ごとに時間をずらしての参観としました。1時間の参観が可能となりますので、ぜひ大勢の保護者の皆様の参観をお願いします。

なお、感染レベルが下がったとはいえコロナの感染は、ここのところ増加傾向にあります。参観中の私語は控えていただきますよう、ご協力をお願いします。また、授業中の動画撮影につきましてもご遠慮くださいますよう、併せてお願いします。

